

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	塩津地区	回数	第5回
日時	平成30年2月3日(土) 午後1時30分～午後4時30分まで		
会場	塩津公民館 講義室	参加者数	19名

1. 案選択で重視すべき事柄

グラウンドや体育館などの面積が十分取れずに課外活動などに支障が出たり、子ども達の声が中学生の学習の妨げになる可能性があるため、中学校が小学校や保育園と一緒にする案は好ましくない。

- ・ 中学生が学習に集中できる環境づくりが大切だ。その点で小学校や保育園と一緒にする案は、子ども達の声が学習の妨げになって集中力をそぐ可能性があるため好ましくない。
- ・ 小学校と中学校と一緒にすることで現状でも狭いグラウンドが更に狭くなり、プールや体育館の面積も十分に取れないために、双方の課外活動などに影響が出るのは困る。それを考えると小学校と中学校は別々が良い。

小学校と中学校と一緒にした先進事例もあるので、小学校と中学校が同じ敷地であっても、建物のつくり方や運用方法で音や運動場利用の問題は解決できるのではないかと。

- ・ 小学校と中学校が同じ敷地にあっても建物のつくり方や運用方法で、音や運動場利用の問題は解決できるのではないかと。他の自治体では小中が一緒にしている例も既にある。

保育園の統合を考える際には、まずその前提となる保育園や幼稚園のあり方を民営化の可能性も含めて検討する必要がある。

- ・ 保育園の統合を考える際には、まずその前提となる保育園や幼稚園のあり方を民営化の可能性も含めて検討する必要があると思う。

塩津保育園と塩津北保育園が統合されれば延長保育を利用できると思うので、現在の塩津北保育園の保護者にとっては良いと思う。

- ・ 塩津保育園と塩津北保育園が統合されることは、塩津北保育園を利用する保護者にとっては、延長保育を利用できることになるはずなので良いと思う。

評価表で提示されているコストには各案の課題解決にかかる費用が含まれていない。課題を解決するためにお金がかかる可能性もあるのに、そういう不確かな数字を重視することに疑問を感じていた。しかし、コスト削減額の大きな案イコール優位な候補ではないとわ

かったので、その点では市の提案を評価できる。

- ・ 評価表で提示されているコストには各案の課題解決にかかる費用が含まれていない。課題を解決するために新たに土地を購入する必要などが出てきたら、かえってお金がかかる可能性もあるのに、そういう不確かな数字を評価の4分の1の割合をもって重視することには疑問を感じる。
- ・ コストの削減額を重視し、それが上位の案が優位な候補なのかと思っていたが、今回中心に検討してほしいという3案はいずれもコスト削減額はさほど大きなものではなかったで、その点は評価できると思っている。

2. ふさわしいと考える案

A案

大災害が発生する前提で考えるのか、大きな被害は出ないだろうと考えるのかで選択は変わってくる。大災害が起きることを考えるなら、高台に公共施設がまとまってある方が安全性が高まると思う。

- ・ 大災害が発生する前提で考えるのか、大きな被害は出ないだろうと考えるのかで選択は変わってくるのではないかと。大災害が起きることを考えるなら、高台に公共施設がある方が安全性が高まるので、高台に施設がまとまっているA案が良いのではないかと。
- ・ 大災害が発生することを前提とするならば、高台に施設がある方が安全だ。

災害は津波だけでなく地割れや土砂災害もありうるので、高台が安全と一概には言えない。想定するのが難しい災害時のことを優先するのではなく、日常の利便性を考えて案を選択するのが良いのではないかと。

- ・ 津波だけでなく地震による地割れや土砂災害を考えると高台が安全とも言い切れない。想定外も起こるかもしれないし、想定外を想定することは難しい。災害時のことを優先するのではなく日常の利便性を考えて選択するのが良い。
- ・ 市のハザードマップには小学校周辺も安全だというデータもある。

《付帯事項》

現在の中学校の敷地では駐車場の確保などを考えると手狭になることも予想されるので、敷地内の私有地の買収を進める必要がある。

- ・ 現在の中学校の敷地では駐車場の確保などを考えると手狭になることも予想される。造成などを考えると、中学校の敷地の中にある私有地の問題を解消する必要があるのではないかと。
- ・ 現在の敷地だけでは手狭になることが予想されるので、私有地の買収を進める必要があるだろう。

現在の中学校校舎は階段構造になっていて複雑なので、建て替えをするタイミングで構造の見直しをした方が良い。

- ・ 現在の校舎は階段構造になっていて複雑だ。建て替えをするタイミングで、構造の見直しをした方が良い。

C案

小学校と中学校が一緒になれば、小学生は中学生を目標とし、中学生は小学生の見本となろうとするなど、お互いにとって良い影響が生まれるのに加え、小中を通じて同じ部活動を続けられる様になると思うので良い。

- ・ 小学校と中学校が一緒になれば、中学生は小学生の見本になろうと意識をするし、小学生はお兄さん、お姉さんのようになりたいと目標が持てるようになり、お互いにとって良い影響が生まれると思う。
- ・ 現在は小学校と中学校の部活の種類が異なっている。例えば小学校のバスケ部は強いが、中学校にはバスケ部がないのでせっかく続けてきたことを諦めなくてはならず可哀そうである。小学校、中学校が複合化されれば、部活も統一されたり連携をとることができ、子どもたちの才能を開花させたり、気持ちを前向きにさせたり、良い影響を与えると思う。

小学校と中学校が一緒になり、高台にある中学校に集約されると、水害、津波の心配がないので、子どもたちを学校に預けている立場からすると安心である。

- ・ 「⑤災害時の対応」の視点で考えると、小学校と中学校が一緒になり、高台にある中学校側に集約されることは、水害、津波の心配がなく子どもたちを学校に預けている立場からすると安心である。

水害時は高台に施設があれば安心かもしれないが、震災時は地崩れの可能性があるため、ここなら必ず安心という場所はない。市のハザードマップでは塩津地区の地区利用型施設は、鹿島こども園を除いて津波浸水予想地域に含まれていないのだから、災害時の視点をそこまで重視する必要はない。

- ・ 高台に避難所指定された施設があっても、安心なのは水害が起こった時のみで、震災時は高台にあると地崩れの可能性があり、かえって心配である。市のハザードマップでも塩津地区の地区利用型施設は、鹿島こども園を除いて津波浸水予想地域に含まれていないことから、そこまで災害時の視点を重要視してC案にこだわることもない。
- ・ 災害時については、必ずここならば安心ということはないはずである。その時々、災害の種類で被害の状況も異なるだろう。施設の場所にこだわり過ぎるよりは、塩津地区全体で避難行動についてあらゆる震災のパターンの対策を検討し、定期的に訓練をして意識付けをしておくことの方が大切だと思っている。

中学校の位置に小学校が移転すると、地区の南部の子ども達などに通学の不便が生じることが問題だ。

- ・ 鹿島こども園に通園していた児童たちが小学校に入学すると、今の中学校の位置だと距離があるので通学が大変である。
- ・ 先進事例もあるので、小学校と中学校が一緒になっても問題はないと思うが、この地区の場合は中学校敷地でないと十分な面積が取れず、小学生の通学の問題が生じることがネックになる。
- ・ 小学校が今の地区から遠くなり、通学しにくい児童が出てくる。

小学校と中学校が複合化されると、お互いの子どもの勉強の妨げになったり、学校行事や部活動で不自由は生じたりすることが懸念される。子供の年齢の幅が大きすぎてプール等の施設を共用することも難しい。

- ・ 小学校と中学校の複合化は懸念があるのでC案は適当ではないと思う。
- ・ お互いの子どもの勉強の妨げになるのではないかと（特別教室の共有、グラウンドの共有など。）
- ・ 学校行事や部活動で不自由は生じるのではないかと（ハード面での共有）。
- ・ 小学校と中学校の統合は、子供の年齢の幅が大きすぎて、プール等施設を共用することが難しく現実的ではない。

現在でも中学生の登下校時に歩道から生徒が溢れている。小中学校が複合化されてより多くの子どもが通学することになった時に、安全性が確保されるのか心配だ。

- ・ 現在でも中学生の登下校時に歩道から生徒が溢れているのに、小中学校が複合化されより多くの子どもが通学することになった時に安全性が確保されるのか。

登下校時に児童生徒が集中することによる危険性は、校門を分けて設置して人の流れを分散させることで回避できるのではないかと。

- ・ 登下校時に児童生徒が集中することによる危険性は、校門を分けて設置して分散させることで回避できるのではないかと。

小学校と中学校が一緒になり、児童と生徒が同じ空間や近くにいると、中学生のいじめ問題などのネガティブなことが小学生に連鎖してしまうのではないかと心配だ。

- ・ 小学校と中学校が一緒になり、児童と生徒が同じ空間や近くにいると、中学生のいじめ問題などのネガティブなことも小学生に連鎖してしまうのではないかと心配である。

小学校が移転すると、その後の施設の面積が避難場所として以前より狭くなる恐れがある。

- ・ 小学校が移転すると、その後の施設の面積が避難場所として以前より狭くなる恐れがある。

《付帯事項》

小学生の通学に配慮し、スクールバスなどによる通学時のアクセスの確保を検討する必要がある。

- ・ 鹿島こども園に通園していた児童たちが、今の中学校に位置する小学校に通学するのは通学が大変である。また、中学生は自転車通学が認められていて、小学生が禁止というのも不公平を感じる。小学生に対してはスクールバスを導入するなど、通学に負担をかけない何らかの交通対策を練る必要がある。

登下校時の混雑を避けるため、小学校と中学校の通学路を分けるなどの安全対策をしてほしい。

- ・ 小学校と中学校の敷地を分けて通学路が混雑しないようにする。
- ・ 登下校の時間が重なると、中学は自転車通学が認められているために、児童たちの安全面が心配である。登下校時の安全対策をお願いしたい。

小中それぞれのグラウンドが十分に確保されるようにすると共に、利用のルールやプログラムを検討して、授業や部活動、放課後の遊びで使用する際に支障が出ないようにしてほしい。

- ・ 小学校、中学校がそれぞれ建設されることで、グラウンドが狭くならないようにしてほしい。授業の時も部活動の時も、小、中学生ともにグラウンドが十分に使えるようなプログラムをつくった上で進めてほしい。
- ・ 放課後に小学校の児童がグラウンドを使えるように、部活動などとの間で運用をルール化する必要がある。(但し、ルール化するのは実際には難しいと思うので現実的ではないかもしれない。)

現状では難しいとのことだが、将来的に生徒数が減った場合には小学校敷地で小中を統合することも考えてはどうか。その際は空いた中学校敷地の利用方法についても考えておく必要がある。

- ・ 現状では小学校の敷地で小中を一緒にするのは難しいとのことだが、将来的に生徒数が減った場合には、小学校敷地で小中を統合することも考えてはどうか。その際は空いた中学校敷地の利用方法についても考えておく必要がある。

小学生の声が中学生の勉強の妨げになったり、中学生のいじめなどが小学生に悪影響を与えることもあるので、小学校と中学校を同敷地に建てる場合でも校舎は別々にした方がよい。

- ・ 小学校低学年の児童たちの声が中学生の勉強の妨げになったり、中学生のいじめなどが小学生に悪影響を与えることもあるので、小学校と中学校の校舎は別々にした方が

良い。

D案

塩津小学校に小学校、公民館、保育園が複合化し、小学校、中学校の位置も変わらないので、現状からの変化が少なくアクセスの負担が生じないのが良い。園児から児童まで小さな子どもの送迎もしやすくなる。

- ・ 塩津小学校の位置に小学校、公民館、保育園が複合化するのは、現状とあまり位置が変わらないので、アクセスの負担があまり生じず皆が行きやすい。
- ・ 小学校、中学校の位置が現状のままなので通学距離の変更がなく、負担がかからない。子どもたちのアクセス面では最も良い案だと思う。
- ・ D案とD'案は共に小学校と中学校が別々だが、公民館が高台の中学校に複合することによる移動の不自由さが発生しないので、D'案よりD案が良い。
- ・ 園児から児童まで小さな子供の送迎がしやすくなる。

今後コミュニティバスなどが実現するとは限らないので、公民館が駅から近いのは車がない人にとっては便利だ。

- ・ 公民館が駅に近いので、車のない人にとっても便利だ。
- ・ コミュニティバスなどの公共交通機関が増えるという前提がなければ、D'案よりもD案の方が、駅に近いのでアクセスの点でよい。
- ・ 公民館へのアクセスを考えると駅から近いD案の方が良いと思う。

塩津小学校に小学校、公民館、保育園が複合化した建物ができ、中学校も建て替えられるので、施設が新しくなるのは良い。

- ・ 塩津小学校の位置に小学校、公民館、保育園が複合化して、施設が新しくなるのは良い。
- ・ 中学校は改築と資料にあったので、少し直すだけかと思い、それなら新しい建物になる案の方が良いかもと考えていたが、改築は建て替えとほぼ同じことだと聞いたので、それなら建物も新しくなり良いと思った。

小学校の施設やグラウンドを利用している公民館の行事や活動が、引き続き行える配置になっているのが良い。複合化されて管理が一元化されれば、人出の多い行事では小学校の敷地を駐車場スペースとして使うなど、柔軟な対応ができるのではないかと。

- ・ 公民館を利用する立場にとっては、体育館利用ができるので、小学校か中学校と一緒にしてほしい。特に現在の公民館利用者にとっては施設の位置も重要であるため、小学校と複合化されるD案は賛同できる。
- ・ 地域の行事は公民館が中心になり、小学校の敷地を利用して行っているのが公民館と小学校が複合化されれば地域の行事が引き続きやりやすい。
- ・ 塩津小学校の位置に小学校、公民館、保育園が複合化し公民館まつりなどの時に、小

学校の敷地を駐車場などとして利用することができる。

- ・ 現在はそれぞれに管理者がいて公民館行事のために小学校を開放して駐車場スペースとして利用することが制限されるなど融通が利かないが、複合化して管理を一元化することで、柔軟な対応ができる様になり利便性が増すだろう。

保育園と小学校が公民館と一緒にあることで多世代が交流できる機会が生まれる。高齢者が園児に昔遊びを教えたり、孫見たさに公民館に行く人が増えるなど、公民館活動の活性化も期待できるのではないかと。

- ・ 保育園と公民館と一緒にある方が、高齢者が園児に昔遊びを教えるなどの交流ができる。交流の時間も中学校よりも多くとれるだろう。
- ・ 子供から高齢者まで多世代が交流できる。
- ・ 孫見たさに公民館に行く人が増えるなど公民館活動の活性化も期待される。

2つの保育園が統合され、小学校も複合されれば、イベントの合同開催の可能性があるのでは賑やかになるし、卒園後にスムーズに小学校の生活に入れると思う。園児と児童の交流ができ、園庭をはじめとする施設が広く使えて活動場所も拡大するので園児の教育に良い。

- ・ 現在、それぞれの保育園で園児の数が少なくて寂しい感じがする。統合され、小学校も複合化されたら、イベント等も合同でできる可能性があるのでは賑やかになって園児の教育にも良いのではないかと。
- ・ 保育園と小学校が統合されることで、保育園と小学校のつながりができ、卒園後にスムーズに小学校の生活に入れる。
- ・ 保育園にとって、園庭をはじめとする施設が広く使えて活動場所が拡大する。
- ・ 保育園、小学校、公民館が複合化されれば園児と児童の交流ができる。

小学校から中学校へは環境の変化があった方が良くと思うので、別々になっている方が良く。

- ・ 小学校から中学校へは環境の変化があった方が良くと思うので、別々になっている方が良く。

現状の中学校のグラウンドは狭いが、再編によって広く使える様になるなら良く思う。

- ・ 現状の中学校のグラウンドは狭いと思うので、広く使える様になるなら良く思う。
- ・ 中学生は体力もあるし、グラウンドが広くても十分使いこなせる。グラウンドは広ければ広いだけ良いのではないかと。

小学校と中学校が統合されると、小学校跡地の避難場所の面積が減ると思うが、小中がそれぞれ残れば今より減らないので良い。

- ・ 避難場所が今より減らない。小学校と中学校が統合されるC案では、小学校跡地の施設の面積は今より減ると予想されるので、C案と比較するとD案の方がよい。

2つの保育園の跡地を売却できるのが良い。

- ・ 2つの保育園の跡地を売却できる。

統合される塩津保育園と塩津北保育園から塩津小学校に入学する子ども達は良いが、鹿島子ども園の卒園生は既にコミュニティが形成されている小学校に入らなくてはならないことになり、いじめなどの問題が発生することが心配だ。

- ・ 塩津保育園と塩津北保育園が統合され、塩津小学校と複合化されることは、その統合保育園に通園していた子どもたちにとっては良いと思う。その一方で、鹿島子ども園を卒園した児童たちは、既にコミュニティが形成されている小学校に入らなくてはならないということになり、いじめなどの問題が生じやすくなるのではないかと。

小学校敷地より中学校敷地の方が広いのに、狭い方の敷地に施設を集め、広い方には中学校だけというのはもったいない気がする。

- ・ 小学校敷地より中学校敷地の方が広いのに、狭い方の敷地に施設を集め、広い方には中学校だけというのはもったいない気がする。

小学校敷地に保育園と公民館を入れると、小学校のグラウンドや保育園の園庭が十分に取れるのかという懸念が残る。

- ・ 小学校敷地に保育園と公民館を入れると、小学校のグラウンドや保育園の園庭が十分に取れるのかという懸念が残る。

公民館利用者が電車を使う人は少ないので、駅からの距離は利便性にあまり関係がないと思う。

- ・ 公民館利用者が電車を使う人は少ないのではないかと。駅からの距離は利便性にあまり関係がないと思う。

《付帯事項》

体育館やグラウンド、調理室などの小学校施設を公民館としても利用できるようにするなど、お互いの施設を有効に使えるよう配慮してほしい。

- ・ 小学校の調理室を公民館の活動に使えるようにするなど、お互いの施設を有効に使えるよう配慮してほしい。
- ・ 体育館やグラウンドなどの小学校施設を公民館としても利用できるようにする。

子ども達と公民館利用者や保育園保護者の車や自転車が接触しないか心配なので、保育園、

小学校、公民館それぞれの出入り口を分けたり、車や自転車の経路と通学路を別にすることで安全対策が必要だ。自家用車利用を抑えるために、コミュニティバスの運行も検討すべきだと思う。

- ・ 子供達と公民館利用者の車が接触しないか心配なので対策が必要だ。
- ・ 保育園、小学校、公民館それぞれの出入り口を分けるなどの対応が必要だ。
- ・ 児童たちが登下校している時間帯と、保育園児の送迎の時間帯が重なると、児童たちの安全面が心配である。保育園児送迎用の車や自転車の経路と児童たちの通学路を分けたり、出入口を分けるなどの工夫をしてほしい。
- ・ 安全性の確保を考えて自家用車利用をおさえるためには、駐車場をむやみに増やさず、コミュニティバスの運行を考えるべき。

駐車場の敷地面積が限られているので、立体駐車場を建設する、ポートルース場の駐車場を活用する、駐車料金取って利用時間を制限するなどの運営上の工夫が必要だ。自動車を利用せず、歩くことを勧めることも考えてはどうか。

- ・ 駐車場の敷地面積が限られているので運営上の工夫が必要だ。
- ・ 駐車場を増やさないとすれば、歩くことを勧める必要もある。例えば、親と子が一緒に通学路を点検し、危険箇所を把握するような活動を展開する。
- ・ 同じ敷地で駐車台数を増やすには立体駐車場を建設することも考えられる。
- ・ ポートルース場の駐車場を活用してはどうか。
- ・ 公民館の利用者には駐車料金を負担してもらい、利用時間を制限するとともに、その資金を公民館運営をより充実させるために活用する。

雨天時に公民館などの活動のためにグラウンドを駐車場として利用した際に、轍が残って学校教育に支障きたさないためには、雨天時のグラウンド利用や管理方法についてルールを設定する必要がある。

- ・ 雨天時に公民館などの活動のためにグラウンドを駐車場として利用した際に、轍が残って学校教育に支障を来さない様にするためには、雨天時のグラウンド利用や管理方法についてルールを設定する必要があるのではないかな。

保育園、小学校、公民館の入口を分けて防犯上の対策をとってほしい。

- ・ 保育園、小学校、公民館の入口を分けて防犯上の対策をとる。

小学校のグラウンドや保育園の園庭、プールなどの面積を十分に確保するためには、複合施設を多層にするなどの建て方の工夫が必要だ。建物が多層になった場合には、エレベーターの設置も考えてほしい。

- ・ 小学校のグラウンドや保育園の園庭、プールなどの十分な面積を確保するためには、棟数を減らし、複合化した建物は多層にしてスペースを作るなど、建物の建て方の工

夫が必要だと思う。

- ・ 建物が多層になった場合には、エレベーターを設置して建物内の移動の利便性を確保してほしい。

園児たちの声が小学生の勉強の妨げになったり、互いが接触して事故が起きることがないように、小学校と保育園の校舎やグラウンドは別々にするなどの対策が必要だ。

- ・ 園児たちの声が小学生の勉強の妨げになったり、走り回る児童が園児たちにぶつかって怪我をするなどの危険がある。校舎やグラウンドは別々にしてほしい。
- ・ 小学生が走って園児にぶつかり、園児が怪我をするような施設にならないようにする必要はある。

複合施設に喫茶店を入れたり、そこを学生の職業体験の場にするなど、今よりも人が来やすく、交流を促進する工夫が必要だ。

- ・ 複合施設に喫茶店等を入れるなど、今よりも人が来やすくなるための工夫がほしい。
- ・ 喫茶店を学生の職場体験に活用するなど、交流を促進するアイデアが生まれる。

中学校を適正規模に改築する際には、緊急時の避難所として機能を果たせるだけのスペースを確保し、過剰に小さくしないでほしい。

- ・ 中学校を適正規模に改築する際には、緊急時の避難所として機能を果たせるだけのスペースを確保し過剰に小さくしない。

将来的に児童館を建て替える時のことを考え、複合化する施設は児童館も統合できるように計画しておくコストの削減につながるのではないかな。

- ・ 将来的に児童館を建て替える時のことを考え、複合化する施設は児童館も統合できるように計画しておくコストの削減につながるのではないかな。

D' 案

中学校と公民館が複合され、中学生が大人と触れ合う機会が増えれば、将来の進路について刺激を受けたり相談するといったことや職業体験、イベント運営などを通じた経験もできて良い影響が生まれる。ただし、公民館の利用者が現状のまま高齢者主体だと、メリットが少ないかもしれない。

- ・ 中学生にもなると将来の職業のことなどを考え始める頃だろう。公民館と複合化されたら大人たちと触れ合う機会が増え、様々な仕事について知ることができたり、技術的なことを伝授するようなプログラムも組みやすくなり、お互いに良い影響になるのではないだろうか。
- ・ 公民館の利用者が現状の様に高齢者主流ではなく、多様な世代になれば中学生にとってもメリットが生まれると思う。大人に相談したり、イベントの運営に関わって経験

ができるなどの機会も生まれるだろう。メリットがあるかないかは公民館のあり方にもよるのではないか。

中学校と公民館が複合されると、公民館に来る大人が中学生を見守ることができ、子供の育成に「地域の目」が働く点が良い。

- ・ 中学校と公民館が複合化されるメリットとして、公民館に来る大人が中学生のことを見守ることができ、子供の育成に「地域の目」が働くという点がある。

中学校と複合化されると公民館の活動でも広い体育館が利用できるのが良い。高齢者が増えてきているので一同に会せるだけのスペースの確保が難しいが、中学校の体育館なら収まる。

- ・ 中学校の体育館は広いので、老人会などで利用できると便利だ。高齢の方が増えてきており、地域の高齢者が一同に会せるだけのスペースが確保できないが、現在の中学校の体育館なら収まる。
- ・ 公民館を利用する立場にとっては体育館利用ができるので、中学校と複合化されるのは良い。

保育園、小学校、公民館と3つの機能が複合化されてソフト面が混ざり過ぎているD案よりも、円滑な運用ができると思うので現実的だ。

- ・ D案は保育園、小学校、公民館と3つの機能が複合化され、ソフト面が混ざり過ぎているのではないか。D'案の方が運用を考えると現実的だと思う。

小学校から中学校へは環境の変化があった方が良くと思うので、別々になっている方が良い。

- ・ 小学校から中学校へは環境の変化があった方が良くと思うので、別々になっている方が良い。

公民館が高台に移るため移動が厳しくなるのに加え、小学校と離れてしまうことで地域の行事がやりにくくなる。

- ・ 高台の上にあるので公民館を利用する人にとっては移動が厳しいのではないか。
- ・ 公民館と小学校が離れてしまうので地域の行事がやりにくくなる。

公民館が中学校に移ると、敷地が足りなくて地域の活動場所が狭くなったり、駐車スペースが十分に取れないのではないか。

- ・ 公民館が中学校に移ると、十分な敷地がないので地域の活動場所が狭くなるのではないか。
- ・ 駐車スペースは十分に確保できるのだろうか。

中学校と公民館が統合されても、中学生は忙しくて交流の時間があまりとれないのではないかと。中学生は高齢者と一緒に遊ぶ年齢でもないので、どんな交流をするのかイメージできない。

- ・ 中学校と公民館が統合されることでメリットがあるのかという疑問がある。中学生は高齢者と一緒に遊ぶ年齢でもないので、介護するくらいしか交流の中身のイメージができない。
- ・ 中学生はカリキュラム的にも忙しく、交流の時間が取れないのではないかと。

統合される塩津保育園と塩津北保育園から塩津小学校に入学する子ども達は良いが、鹿島子ども園の卒園生は既にコミュニティが形成されている小学校に入らなくてはならないことになり、いじめなどの問題が発生することが心配だ。

- ・ 塩津保育園と塩津北保育園が統合され、塩津小学校と複合化されることは、その統合保育園に通園していた子どもたちにとっては良いと思う。その一方で、鹿島子ども園を卒園した児童たちは、既にコミュニティが形成されている小学校に入らなくてはならないということになり、いじめなどの問題が生じやすくなるのではないかと。

《付帯事項》

中学校の体育館を公民館の活動でも利用できるようにする。

- ・ 中学校の体育館を公民館でも利用できるようにする。

中学校と公民館が統合されるメリットを生むには、公民館を多世代が訪れる場にする必要がある。運営を工夫したり民間のカフェを入れて交流の場を作ることなどで訪れる人を増やす。

- ・ 中学校と公民館が統合されるメリットが生まれる様に、公民館を多世代に使われる場になる様にする。案の評価は公民館がどう活用されるかで変わるのではないかと。ソフトが大切だと思う。
- ・ 公民館活動活性化のための工夫も必要だ。民営のカフェを入れて、交流の場やゆっくりできるスペースができれば訪れる人も増えると思う。

公民館が中学校敷地に移動すると、現在の公民館の利用者にとって距離が遠くなり、さらに高台にあるために不便になる。特に徒歩移動の人や高齢者のことを考え、アクセス面での対策が必要だ。

- ・ 公民館が中学校敷地に移動すると、現在の公民館の徒歩利用者にとっては距離が遠くなる可能性が高く、さらに高台にあるために不便になる。特に高齢者のことを考えるとアクセス面での対策は必要になる。

中学生の登下校時は、生徒の安全性を確保するために公民館利用者の車とは経路や出入口

を分けるなどの安全対策をしてほしい。

- ・ 中学生の登下校時は、生徒の安全性を確保するため、公民館利用者の車とは経路や出入口を分けるなどの安全対策をしてほしい。

3. その他（今後の進め方、建物、ソフトへの提案など）

施設配置によって交流が促進される面はあると思う。複合化の際に柵などで施設の区分けをする際には、閉鎖感や窮屈感が生じない様な工夫をしてほしい。

- ・ 公民館と学校施設が複合化された方が交流の機会は増えると思うので、施設配置によって交流を促進するという考え方は良いと思う。
- ・ 施設を複合化した場合には柵などを設けて施設の区分けをすることになると思うが、各施設に閉鎖感や窮屈感が生じない様にしてほしい。

交流が生まれるかどうかは施設間の距離の問題ではなく、運用の課題になってくると思う。ソフトの検討が大切だ。

- ・ 公民館と小学校は既に隣接しているが、交流が十分にあるとは思えない。施設の距離ではなく、交流が生まれるかどうかは運用（ソフト面）の課題になってくると思う。

保育園を統合する場合には民営化についても検討してはどうか。その方が効率的な運営ができてコスト削減につながり、延長保育や低年齢児保育の実現などサービスの向上もできるのではないかと。

- ・ 保育園を統合する場合には民営化についても検討してはどうか。その方が効率的な運営ができるのでコスト削減につながる。延長保育や低年齢児保育の実現などサービスの向上もできるのではないかと。

保育園のサービスの向上は公立のままでもできると思う。統合しても利用者が少なくても統合した意味がないので、園児が集まる園にするために延長保育や低年齢児保育を実施することが不可欠だと思う。

- ・ 保育園のサービスの向上は公立のままでもできると思う。統合しても利用者が少ないようでは統合した意味がないので園児が集まる様な園にすべき。そのためには延長保育や低年齢児保育の実施が不可欠だと思う。

高学年でも受け入れられるようにして児童クラブの充実を図ってほしい。

- ・ 児童クラブを高学年でも受け入れられるようにして充実を図ってほしい。

保育園の延長保育や児童クラブの時間延長、公民館の施設管理などを検討、実施する際には、柔軟的な対応と効率の向上ができる様に、それぞれの部署の職員が連携を取り、必要

な時には助け合えるような関係づくりをしてほしい。

- ・ 児童クラブの時間延長や保育園の延長保育、公民館の施設管理などを検討、実施する際には、それぞれの部署の職員が連携を取り、必要などときには助け合えるような関係ができると良い。そうすれば柔軟に対応でき、効率も上がる。

学校や保育園の統合のことなどについては、現場を良く知る学校や保育園の先生の話聞くべきではないかとこれまで言ってきたが、どのタイミングで行うつもりなのか教えてほしい。

- ・ 学校や保育園の統合のことなどについては、現場を良く知る学校や保育園の先生の話聞くべきではないかとこれまで言ってきたが、どのタイミングで行うつもりなのか。